

令和2年度シラバス (教科・科目:理科・生物基礎)

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	2	必履修

教科書	学習書・他教材
実教出版『高校生物基礎 新訂版』7実教 生基314	なし

学習目標
生命探求のための基礎知識を身につけさせる。観察・実験等を通して生命に触れさせ、実験機器の使い方やレポートの作り方を学ばせ、様々な生物や生命現象を通して、生命の尊さを認識させる。

学習計画		
学習項目	学習内容	試験範囲 (学習期間)
1章 生物の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 生物は多様でありながら、共通性があることを理解する。 すべての生物は細胞から成り立っており、その中で様々な生命活動が行われているとともに、エネルギーの変換も行わせていることを理解する。 	前期中間考査 (17時間)
2章 遺伝子とその働き	<ul style="list-style-type: none"> DNAの研究過程をふまえ、遺伝子としてのDNAの構造と働きについて理解する。 タンパク質合成のしくみを知り、遺伝現象とは遺伝子を基に合成された特定のタンパク質が体内で働くことにより起こることを理解する。 	前期期末考査 (16時間)
3章 生物の体内環境とその維持	<ul style="list-style-type: none"> 恒常性維持の重要な要素である体液・自律神経・ホルモンの特徴や働きを知り、それらの巧みな連携により体内環境が保たれていることを理解する。 生体内には病原菌などの異物を認識し、排除して体内環境を保つしくみがあることを理解する。 	後期中間考査 (17時間)
4章 生物の多様性と生態系	<ul style="list-style-type: none"> 植物の生活と外部環境の影響について理解する。 生態系の構成や概念を通して、物質循環やエネルギーの流れを理解する。 	後期期末考査 (20時間)

計70時間(50分授業)

評価規準と評価方法			
評価は、次の4観点から行う。			
①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③観察・実験の技能	④知識・理解
自然の事物、現象に関心を持ち、意欲的に授業に取り組んでいる。 実験、観察に主体的に取り組んでいる。 教師の発問に対して意欲的に答えている。	自然の事物、現象の中に問題を見出している。 実験、観察に関してさまざまな観点から考察し論理的に考えている。 実験、観察の結果を的確に適切な言葉でまとめることができる。	生物学的な方法で生物や生命現象に関する問題を取り扱い、観察、実験の技能を修得している。 互いに協力して実験、観察を行うことができる。	自然の事物、現象における原理、法則などの基本的な知識や考え方を理解している。 実験、観察の目的や実験の原理を理解している。
以上の観点を踏まえ、定期考査の成績、課題レポートの提出、授業への取り組みから総合的に評価します。			

授業の進め方、課題・提出物など
普通の授業では、必要に応じてノートを取り、しっかりとプリント課題の記入をしましょう。 課題プリントは、教師の指示に従って、提出期限を守り提出してください。

担当者からのメッセージ
生物学に興味を持ち、生物基礎の内容をきちんと修得し、さらに真面目にコツコツと学ぶ姿勢を示す生徒を希望する。また、将来看護系や農業系等に進学を考えている生徒は履修・修得することが望ましい。